

## (お 知 ら せ)



2024年12月2日  
日本原子力発電株式会社

### 敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

#### 1. 発電所の状況について（2024年12月2日現在）

1号機 沸騰水型	廃止措置中（2017年4月19日～） ・第6回定期事業者検査中（2024年3月27日～ 2025年3月上旬予定） ・建屋内廃棄物移送ルート等確保に伴う機器解体工事 （2024年10月1日～）
2号機 加圧水型 （116万kW）	第18回定期検査中（2011年8月29日～未定）

（ ）内は定格電気出力

#### <新規制基準への適合性審査に係る申請状況>

	申請	申請日	補正日	許認可日
2号機	原子炉設置変更許可※	2015.11.5	2023.8.31	—
	工事計画認可	—	—	—
	保安規定変更認可	2015.11.5	—	—

※2024年11月13日、原子力規制委員会は、基準に適合しているとは認められないとして、許可しないことを決定した

#### 2. 故障等の状況について（2024年11月1日～12月2日）

##### (1) 法律に基づく報告事象

なし

##### (2) 安全協定に基づく異常時報告事象

なし

### (3) 保全品質情報等

#### ① 敦賀発電所1号機 アスファルト固化設備 水噴霧消火ポンプケーシング部のき裂について

敦賀発電所1号機において、11月21日16時05分頃、新廃棄物処理建屋1階（管理区域）にて、アスファルト固化設備の消火設備の点検のため水噴霧消火ポンプ（以下、「当該ポンプ」という。）を運転していたところ、当該ポンプからろ過水約400リットルが飛散しました。このため、当該ポンプを停止するとともに出入口弁を閉止したことにより、16時11分頃、ろ過水の飛散は停止しました。当該ポンプを点検した結果、ケーシング部にき裂を確認しました。

なお、飛散したろ過水に放射性物質は含まれておらず、本事象による周辺環境への影響はありません。

また、事象発生時に当該ポンプ付近にいた当社社員1名および協力会社社員2名が被水しましたが、測定の結果、汚染はありませんでした。

今後、ケーシング部にき裂が発生した原因を調査してまいります。

（別紙－1参照）

### 3. 敦賀発電所3, 4号機 準備工事について（2024年12月2日現在）

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理、及びコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。

### 4. その他

#### (1) 敦賀発電所 原子力事業者防災業務計画の修正について

原子力災害対策特別措置法に基づき、敦賀発電所の原子力事業者防災業務計画の修正案について、11月8日から関係自治体との協議を開始しました。

（2024年11月8日お知らせ済み）

#### (2) (当社コメント) 敦賀発電所2号機の新規制基準適合性審査に係る原子力規制委員会の決定について

11月13日、原子力規制委員会が敦賀発電所2号機の敷地内のD-1トレンチ内に認められるK断層の活動性及び連続性について新規制基準に適合していると認められないことから、敦賀発電所2号機の設置変更許可申請に対して、許可をしないことを決定したことは、大変残念であります。

当社としましては、敦賀発電所2号機の設置変更許可の再申請、稼働に向けて取り組んでまいります。申請に必要な追加調査の内容について、社外の専門家の意見も踏まえながら具体化してまいります。

当社の取り組み状況等につきましては、地域の皆様、関係者の皆様への情報発信に引き続き努めてまいります。

（2024年11月13日お知らせ済み）

(3) げんでんふれあいギャラリー催し物のご案内について

【開館時間：9：30～16：30】

<個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用いただいています>

①わたしたちのデイリースタイルNo. 25

ビーズ工房（代表：田中 たなか きみえ 喜美枝 様）の皆様による手作り作品展です。紙バンドを使ったカバンや雑貨、ビーズのアクセサリ等を300点展示予定です。

（12月10日～12月15日（最終日は15：30まで））

②2024福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品展 敦賀展

今年で31年目を迎える、福井県内の小・中学生の理科研究を審査する「科学アカデミー賞」（主催：福井新聞社）に寄せられた作品の中から、上位入賞した作品を24点展示予定です。

（12月17日～1月5日）

以上

< 問 合 せ 先 >  
日本原子力発電株式会社  
敦賀事業本部 立地・地域共生部  
〔担当：高橋、垣見〕  
電話：0770-25-5612

## 敦賀発電所1号機 アスファルト固化設備 水噴霧消火ポンプケーシング部のき裂について

敦賀発電所1号機（廃止措置中）において、2024年11月21日16時05分頃、新廃棄物処理建屋1階（管理区域）にて、アスファルト固化設備の消火設備の点検のため水噴霧消火ポンプ（以下、「当該ポンプ」という。）を運転していたところ、当該ポンプからろ過水<sup>※1</sup>約400リットルが飛散しました。このため、当該ポンプを停止するとともに出入口弁を閉止したことにより、16時11分頃、ろ過水の飛散は停止しました。

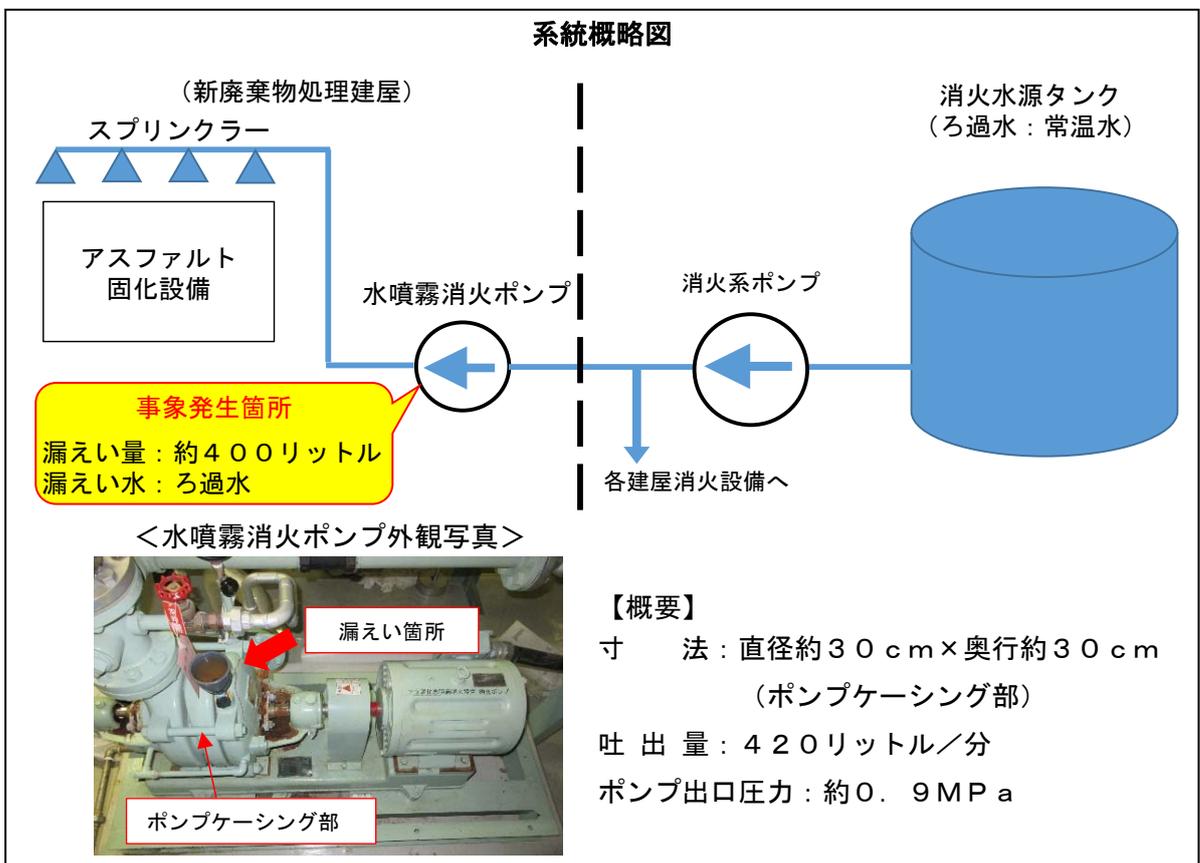
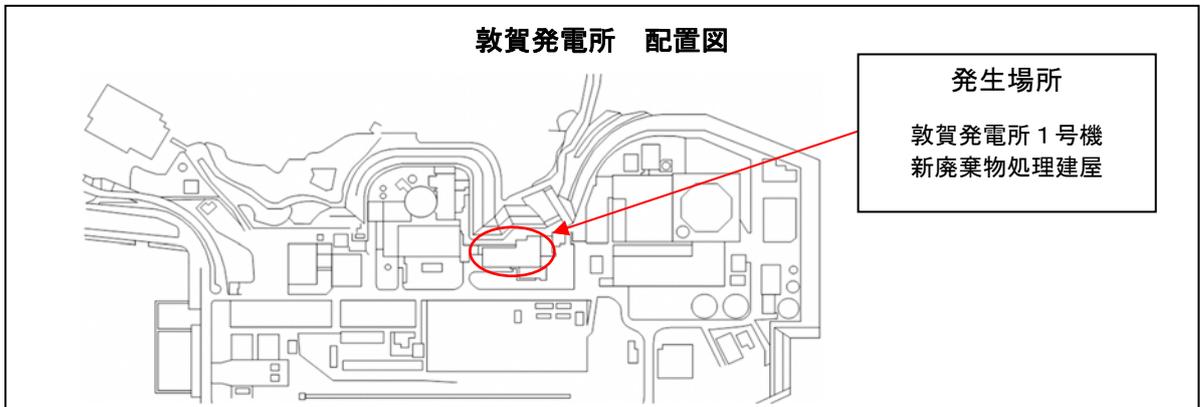
当該ポンプを点検した結果、ケーシング<sup>※2</sup>部にき裂を確認しました。

なお、飛散したろ過水に放射性物質は含まれておらず、本事象による周辺環境への影響はありません。また、事象発生時に当該ポンプ付近にいた当社社員1名および協力会社社員2名が被水しましたが、測定の結果、汚染はありませんでした。

今後、ケーシング部にき裂が発生した原因を調査してまいります。

※1 河川から取水した水をろ過装置によりろ過した水。

※2 ポンプ外殻のことで中に羽根車が納まる。



以上